

2018年8月2日

BMW グループは業績を維持し、2018年の見通しを再確認

- 未来のモビリティのために包括的な先行投資を実行
- 中国でのプレゼンスを大幅に拡大
- 電気自動車の販売台数が顕著に増加
- グループの EBT マージンは目標範囲の 10%を上回る見込み
- 自動車セグメントでの EBIT マージンは 8~10%の範囲を堅持
- 上半期におけるフリー・キャッシュフローが拡大
- ヨーロッパの新設工場が成長見通しを後押し
- BMW AG 取締役会会長ハラルド・クルーガー：ひたむきに自らの進むべき道を行く

ミュンヘン発：

BMW グループはこの上半期に将来のモビリティのための大規模な投資を行い、同時に収益性の高い成長への歩みを確実に進めることができた。当社は、企業戦略 **Number ONE > NEXT** を厳格に遂行することで、企業として自動車分野の変革を形作るための重要な役割を担っている。このプロセスを推し進めることで、BMW グループは常に顧客の希望や願望に焦点を当て（自動運転（A）、コネクティビティ（C）、電動化（E）、サービス／シェア（S））に沿った画期的な活動を継続する。さらに当社は、最大の成長市場の中国における将来のための最終的な道筋を設定している。

「当社は、ひたむきに自らの進むべき道を行き、確実に歩を進めます。将来の要求を満たすため、当社は首尾一貫して準備を整えます。こうした姿勢があるからこそ、この困難な時代においても当社が信頼できるパートナーであり続けることができるのです」と BMW AG 取締役会会長、ハラルド・クルーガーが木曜日、ミュンヘンにおいて発言した。さらに続けて「BMW グループは、100 年を超える経験があり、変容し続け、また移ろいやすい世界情勢への対応することができます。当社のビジョンは、長期的な見通しの上にはっきりと示されています。当社が引き続き競争力を確保するためには、収益性、成長性、革新性という重要な課題に力を注ぐことが極めて重要です。」と述べている。

計画通り、BMW グループは当期、モビリティの未来のために先行投資を大幅に拡大した。研究開発費は、上半期において前年同期を 300 百万ユーロ超上回り、2,610 百万ユーロ（13.6% 増）が供給された。同様に、当社は、当期における R&D への出費がグループ収益の 7% にまで達すると予想している（前年同期：6.2%）。

BMW グループは、ニュー・モデル攻勢を推進するための生産台数増大に加えて、電動車両（エレクトロモビリティ）と自律走行の両分野での活動拡大に注力している。どちらの分野でも、BMW iNEXT が技術的な先導役として新たな基準を設定することになる。2018 年の下半期には BMW iNEXT のヴィジョン・モデルを一般公開し、2021 年にはディンゴルフイン工場

で製造される予定である。このことが、将来技術のための主要な場所として、またエレクトロモビリティのコンピテンス・センターとしてのドイツの地理的重要性を強調することになる。

中国での取組みが新たなレベルに達する

過去数週間にわたり BMW グループは、**中国**における存在感を増し、商業的な成功を促進するための歩みを大きく進めてきた。BMW グループとブリリアンス・オートモーティブ・グループは、合弁事業であるBMWブリリアンス・オートモーティブ(BBA)について、2020年以降にBBAが製造する電気自動車(ピュアEV)**BMW iX3**を、中国以外の市場にも輸出することに合意した。

既に発表した通り、BMW グループは 2022 年以降の乗用車製造の合弁事業に関し、さらなる市場開放と国外からの出資制限に関する改革を開始するという中国のコミットメントを歓迎している。しかし、パートナーとの継続的な議論について、BMW グループは公式なコメントは行わないという方針に変わりはない。

BMW グループは、BBA 合弁事業の拡大と並行し、中国メーカーの長城汽車(Great Wall Motor)との間で、出資比率 50:50 の合弁企業を中国に立ち上げ、**MINI**の電気自動車を生産する、という契約に署名した。この合弁企業「スポットライト・オートモーティブ(Spotlight Automotive Limited)」は、MINI の他に長城汽車のための電気自動車も生産することになる。新会社設立には、管轄する中国当局の承認と事業登録手続きの完了が必要となる。

BMW グループは**欧州地域**にも投資しており、生産ネットワークを拡張するためハンガリーに新工場を設立し、アジア、南北アメリカ大陸、欧州間で世界的にバランスの取れた生産体制を整備する。これについてクルーガーは、「新工場設立の決定は、BMW グループの成長見通しを後押しするものです。この新たな拠点でも、一つのラインで内燃機関と電動駆動装置を搭載する車両をどちらも生産することができます。」とコメントしている。

BMW グループは世界規模の自動車関連企業(モビリティ・テック・カンパニー)に発展しており、これに歩調を合わせて**ソフトウェア開発**分野での専門知識や能力も拡充させている。この目的のため、BMW グループは第 2 四半期中に関連する独占禁止法規制当局による審査と承認が行われることを条件に、クリティカル・ソフトウェア社との間で合弁企業クリティカル・テックワークス(Critical TechWorks)の設立に合意した。これにより BMW グループは、ポルトガルのリスボンとポルトに基盤を持ち、同地で躍進を遂げ、欧州地域で大きな成功を収めているソフトウェア開発企業のこの分野に関するノウハウやスキルの活用が可能になった。これに並行する形で BMW グループは、ドイツおよび世界中の数多くの施設において、IT およびソフトウェア開発に携わるスタッフを増員している。

BMW グループは、エレクトロモビリティにおける指導的役割を明確化

約 5 年前の BMW i3 の市場導入以来、BMW グループはエレクトロモビリティのパイオニアとして、終始一貫してこの道を歩み続けている。ニューBMW i8 ロードスターを含めたモデ

ル・ラインナップを拡大し、現在では 10 種類の電気駆動モデルを揃えている。BMW および MINI の電気駆動モデルの年初来の累計販売台数は、60,660 台(前年同期比 42.5% 増)に達している。このことは、世界をリードするプレミアム・エレクトロモビリティ・メーカーとしての BMW グループの地位を明確化している。これに関してクルーガーは、「当社は、今年一年で 14 万台を超える電気駆動モデルを販売することをお約束します。」とコメントしている。また、2019 年末にはオックスフォード工場でバッテリー駆動の MINI 電気自動車の生産が開始され、2020 年には中国・瀋陽でオール・エレクトリック BMW iX3 の生産が開始される。BMW iNEXT と BMW i4 は、共に 2025 年までに BMW グループが市場に投入する予定の **25 種の電気駆動モデル**の一翼を担うことになる。これらのモデルの半数はピュア EV になる予定である。

BMW グループは順調に上半期を終了

BMW グループのバックボーンは、成果をあげ、持続的に収益をもたらすコア・ビジネスである。BMW AG 財務担当取締役のニコラス・ペーターは、次のようにコメントしている。「当社にとって試練をもたらす枠組み条件は、常に競争上の優位性を最大限に活用する機会であると捉えています。ダイナミックに変化し続ける環境に対応するためには、目標を明確にし、柔軟に対応することが大切です。私たちは、BMW グループが持続的に収益を確保できるよう努めています。そのための基盤は強い財務体質にあり、最も収益性の高いメーカーとしての当社の地位が、この移ろいやすい時代にあっても、将来のモビリティを自らの手で形作る能力があると保証します。」この上半期、BMW グループは自動車部門で 19 億 4,400 万ユーロ(前年同期:20 億 3,500 万ユーロ、4.5% 減)という大きなフリー・キャッシュフローを生み出し、年間でも 30 億ユーロ以上のフリー・キャッシュフローを予定している。

2018 年の**上半期**におけるプレミアム・ブランド BMW、MINI、Rolls-Royce の販売台数は、前年同期比 1.8% 増の 1,242,507 台(前年同期:1,220,819 台)に達した。**グループ収益**は 47,717 百万ユーロ(前年同期:49,691 百万ユーロ、4.0% 減)となった。為替の影響を調整すると、前年と同水準(0.3% 減)の収益となる。研究・開発活動への先行支出が大幅に増加したため、**金利支払前税引前利益(EBIT)**は 5,479 百万ユーロ(前年同期:5,753 百万ユーロ、4.8% 減)となった。上半期の財務成績には、中国の合弁事業 BBA による 444 百万ユーロ(前年同期:342 百万ユーロ)が寄与している。これにより**税引前グループ収益(EBT)**は、6,038 百万ユーロ(前年同期:6,238 百万ユーロ、3.2% 減)となった。グループの **EBT マージン**は 12.7%(前年同期:12.6%)となっている。また**グループ純利益**は、4,383 百万ユーロ(前年同期:4,491 百万ユーロ、2.4% 減)であった。

第2四半期の BMW グループの販売台数は、0.7% 増えて 637,878 台(前年同期:633,582 台)だった。この3か月間の**グループ収益**は、前年同期比 2.9% 減の 25,023 百万ユーロ(前年同期:25,765 百万ユーロ)であり、為替の影響を調整すると 0.1% 増となっている。**金利支払前税引前利益(EBIT)**は、研究・開発への大幅な先行支出増により 2,746 百万ユーロ(前年同期:2,932 百万ユーロ、6.3% 減)となった。**税引前グループ収益(EBT)**は、2,873 百万ユーロ(前年同期:3,058 百万ユーロ、6.0% 減)となった。これによりグループの **EBT マージ**

ンは 11.5%(前年同期: 11.9%)となり、目標値の 10%を上回った。グループ純利益は 2,082 百万ユーロ(前年同期: 2,217 百万ユーロ、6.1%減)であった。

自動車部門: EBIT マージンは目標圏内

上半期の自動車部門の収益は、41,518 百万ユーロ(前年同期: 42,166 百万ユーロ、1.5%減、為替の影響調整後は 2.4%増)であった。EBIT は 3,800 百万ユーロ(前年同期: 4,121 百万ユーロ、7.8%減)である。その結果、EBIT マージンは 9.2%(前年同期: 9.8%)となった。税引前利益は 4,343 百万ユーロ(前年同期: 4,676 百万ユーロ、7.1%減)である。

第 2 四半期の自動車部門の収益は前年と同じ高いレベルを維持し、22,192 百万ユーロ(22,165 百万ユーロ、0.1%増、為替の影響調整後は 3.2%増)となった。大幅に増加した研究・開発費に加えて為替の影響や原材料価格の高騰が第 2 四半期の EBIT を圧迫し、前年同期に比べて数億ユーロの減少につながった。追加支出の大部分は、効率改善により相殺することができた。これにより第 2 四半期中の EBIT は 1,919 百万ユーロ(前年同期: 2,244 百万ユーロ、14.5%減)となった。結果、自動車部門の EBIT マージンは 8.6%(前年同期: 10.1%)と、目標範囲の 8~10%に収まっている。税引前利益は 2,062 百万ユーロ(前年同期: 2,391 百万ユーロ、13.8%減)となった。

第 2 四半期の販売台数が好調だったため、BMW グループは 35 四半期連続で成長を維持した。評価の高い X モデルには大きな需要があり、中国および南アフリカでの BMW X3 の生産量拡大によりこれに対処することができる。そのため、引き続き下半期も販売台数の上乗せが期待できる。

また BMW モデルの新しい試験法 WLTP への切り替えは予定どおり進捗し、ほぼ完了している。さらに、2019 年 1 月 1 日施行予定の排出ガス基準 Euro 6d-TEMP にも、約 190 種のモデルがすでに適合している。これらのモデルには、従来のガソリン・エンジンおよびディーゼル・エンジン搭載車に加え、BMW i、BMW iPerformance、さらに BMW M モデルも含まれる。

上半期、BMW ブランドは世界中で 1,059,296 台(前年同期: 1,038,030、2.0%増)の車両を顧客に届けた。多くのモデルのうちで年初来の販売数増大に寄与したものとして、BMW 1 シリーズ(98,396 台、7.2%増)、BMW X1(152,866 台、11.8%増)、BMW 5 シリーズ(191,185 台、14.9%増)がある。BMW 5 シリーズ セダンは、上半期のビジネス・セダン・セグメント販売台数において第 1 位を獲得した。また 6 月単月の BMW X3 の販売台数は、供給体制の強化により 24.6%増加して 17,584 台となった。

MINI の世界全体での上半期販売台数は 181,430 台で、昨年度の高水準に並ぶ数字(0.1%増)を記録した。MINI クロスオーバーの需要は特に大きく、上半期は 48,692 台(39.8%増)を販売した。

ロールス・ロイス・モーター・カーズの上半期の販売台数は、前年同期比 13.1% 増の 1,781 台であった。ロールス・ロイスは各モデルとも中国での需要が上向いており、その他大部分の市場で高い需要を維持した。中東の状況は依然として不安定である。新型ファントムの売れ行きは好調であり、ドーン、ゴースト、レイスのブラック・バッジ・バージョンの需要も期待を上回るものがあった。5 月には新しいロールス・ロイス・カリナンが成功裡にデビューを飾り、既に来年まで予約待ちの状態にある。

上半期において、3 つの**主要販売地域**すべてが BMW グループの販売増に寄与している。**欧州地域**では、BMW グループはわずかに成長を見せた(562,102 台、1.2% 増)。**南北アメリカ大陸地域**でも、BMW グループは販売台数を伸ばしており(226,061 台、3.9% 増)、米国(176,570 台、2.8% 増)も含む域内のすべての市場が上半期に成長を記録している。上半期の**アジア地域**の販売台数も増加した(423,890 台、1.9% 増)。グループで最大の市場である中国でも、販売台数はわずかに増加している(300,153 台、2.2% 増)。

モーターサイクル部門はモデル・ラインナップを改定

BMW モーターサイクルは 2018 年にモデル・ラインナップを大きく改定し、9 種類のニュー・モデルを投入した。ただし、増産段階で必要となった生産調整が出荷台数に影響を及ぼした。**上半期のモーターサイクル部門**は、86,975 台(前年同期:88,389 台、1.6% 減)の BMW モーターサイクルおよびマキシスクーターを販売した。**収益**は 1,182 百万ユーロ(前年同期:1,315 百万ユーロ、10.1% 減)となった。**金利支払前税引前利益**は 175 百万ユーロ(前年同期:229 百万ユーロ、23.6% 減)となった。このセグメントの **EBIT マージン**は、14.8%(前年同期:17.4%)となった。**税引前利益**は 174 百万ユーロ(前年同期:228 百万ユーロ、23.7% 減)であった。

第 2 四半期の総販売台数は、51,117 台(前年同期:52,753 台、3.1% 減)だった。**収益**は、658 百万ユーロ(前年同期:695 百万ユーロ、5.3% 減)となった。このセグメントにおける**金利支払前税引前利益**は 98 百万ユーロ(前年同期:104 百万ユーロ、5.8% 減)で、これに伴い同セグメントの **EBIT マージン**は 14.9%(前年同期:15.0%)となった。**税引前利益**は 96 百万ユーロ(前年同期:103 百万ユーロ、6.8% 減)であった。

ファイナンシャル・サービス部門は引き続き順調

上半期において、**ファイナンシャル・サービス部門**は順調な業績を維持した。この上半期には、932,211 件(前年同期:934,237 件、0.2% 減)の**新規リース契約および信用融資契約**が締結された。6 月 30 日時点での小売顧客との**契約ポートフォリオ**は、5,506,901 件(2017 年 12 月 31 日:5,380,785 件、2.3% 増)となった。**部門収益**は、13,815 百万ユーロ(前年同期:14,090 百万ユーロ、2.0% 減)となった。**税引前利益**は、1,166 百万ユーロ(前年同期:1,184 百万ユーロ、1.5% 減)であった。

第 2 四半期には、480,303 件(前年同期:468,603 件、2.5% 増)の**新規リース契約および信用融資契約**が小売顧客との間で交わされた。**部門収益**は、7,141 百万ユーロ(前年同期:

7,044 百万ユーロ、1.4%増)となった。税引前利益は、605 百万ユーロ(前年同期:589 百万ユーロ、2.7%増)に達した。

従業員の増員

BMW グループの従業員数は、6 月 30 日時点で 131,636 名であり、2017 年 12 月 31 日時点と比べて 1.3% 増加した。引き続きデジタル化、自律走行、電気自動車などの将来的な分野に関する熟練労働者および IT スペシャリストを採用する。

BMW グループは 2018 年度の目標を再確認

BMW グループは、その強いブランド力、魅力的な製品ポートフォリオ、国際的な自動車市場が全体として上昇傾向を続けるという期待を元に、今年度の目標を達成できるものと信じている。これら好ましい要因はあるが、革新技術、熾烈な競争、人件費の増大などといった極めて高い水準の先行投資によって相殺される。世界的な政治的および経済的環境は依然として不安定であると予想される。

BMW グループは、今年一年を通じた見通しを再確認した。当社は、2018 年の自動車部門での販売台数および収益に関し、わずかな成長ながら新記録の達成を予測している。加えて、税引前グループ収益でも前年レベルの達成を目指している。BMW グループは自動車部門の EBIT マージンの目標範囲を、引き続き 8~10% と予測している。

計画中のモビリティ・サービスの統合化に関連して、BMW グループは、今年中に競争当局の承認を得た場合、合弁会社の設立によって一回限りの評価および収益効果をもたらし、業績の見通しを調整することになる。このような状況になった場合、2018 年の税引前グループ収益は 1 年前の予測よりわずかに高くなるであろう。なお、前述の影響が自動車部門の EBIT マージンに影響を及ぼすことはない。

ここに示した今年度の予測は、世界の経済および政治情勢が大きく変わらないという仮定に基づいている。

BMWグループ - 概要		2018年上半期	2017年上半期	変動率(%)
販売台数				
自動車	台	1,242,507	1,220,819	1.8
BMW	台	1,059,296	1,038,030	2.0
MINI	台	181,430	181,214	0.1
Rolls-Royce	台	1,781	1,575	13.1
モーターサイクル	台	86,975	88,389	-1.6
従業員 ¹ (2017年12月31日時点との比較)		131,636	129,932	1.3
EBITマージン 自動車部門 ³	%	9.2	9.8	-0.6 %ポイント
EBITマージン モーターサイクル部門 ³	%	14.8	17.4	-2.6 %ポイント
EBTマージン BMWグループ ³	%	12.7	12.6	+0.1 %ポイント
収益 ³	百万ユーロ	47,717	49,691	-4.0
自動車部門 ³	百万ユーロ	41,518	42,166	-1.5
モーターサイクル部門 ³	百万ユーロ	1,182	1,315	-10.1
ファイナンシャル・サービス ³	百万ユーロ	13,815	14,090	-2.0
その他の事業 ³	百万ユーロ	3	3	-
控除 ³	百万ユーロ	-8,801	-7,883	-11.6
金利税引前利益(EBIT) ³	百万ユーロ	5,479	5,753	-4.8
自動車部門 ³	百万ユーロ	3,800	4,121	-7.8
モーターサイクル部門 ³	百万ユーロ	175	229	-23.6
ファイナンシャル・サービス	百万ユーロ	1,176	1,192	-1.3
その他の事業	百万ユーロ	16	12	33.3
控除 ³	百万ユーロ	312	199	56.8
税引前利益(EBT) ³	百万ユーロ	6,038	6,238	-3.2
自動車部門 ³	百万ユーロ	4,343	4,676	-7.1
モーターサイクル部門 ³	百万ユーロ	174	228	-23.7
ファイナンシャル・サービス	百万ユーロ	1,166	1,184	-1.5
その他の事業	百万ユーロ	78	19	-
控除 ³	百万ユーロ	277	131	-
法人税 ³	百万ユーロ	-1,648	-1,747	5.7
営業利益 ³	百万ユーロ	4,383	4,491	-2.4
1株当たり利益 ^{2,3}	ユーロ	6.60/6.61	6.79/6.80	-2.8/-2.8

¹ 休眠中の雇用契約、退職前のパートタイム労働契約および低賃金労働者の労働および非労働段階の従業員を除く。

² 普通株式／優先株式 1株当たりの利益。

³ 2017年の数値はIFRS第15号に従って調整 - 四半期報告書の注[5]を参照。

⁴ 2018年に対する値、-7百万ユーロの廃止事業分野の損益を含む。

BMWグループ - 概要		2018年第2四半期	2017年第2四半期	変動率(%)
販売台数				
自動車	台	637,878	633,582	0.7
BMW	台	541,849	534,585	1.4
MINI	台	95,055	98,155	-3.2
Rolls-Royce	台	974	842	15.7
モーターサイクル	台	51,117	52,753	-3.1
従業員 ¹ (2017年12月31日時点との比較)		131,636	129,932	1.3
EBITマージン 自動車部門 ³	%	8.6	10.1	-1.5 %ポイント
EBITマージン モーターサイクル部門 ³	%	14.9	15.0	-0.1 %ポイント
EBTマージン BMWグループ ³	%	11.5	11.9	-0.4 %ポイント
収益 ³	百万ユーロ	25,023	25,765	-2.9
自動車部門 ³	百万ユーロ	22,192	22,165	0.1
モーターサイクル部門 ³	百万ユーロ	658	695	-5.3
ファイナンシャル・サービス ³	百万ユーロ	7,141	7,044	1.4
その他の事業 ³	百万ユーロ	1	1	-
控除 ³	百万ユーロ	-4,969	-4,140	-20.0
金利税引前利益(EBIT) ³	百万ユーロ	2,746	2,932	-6.3
自動車部門 ³	百万ユーロ	1,919	2,244	-14.5
モーターサイクル部門 ³	百万ユーロ	98	104	-5.8
ファイナンシャル・サービス	百万ユーロ	607	588	3.2
その他の事業	百万ユーロ	7	8	-12.5
控除 ³	百万ユーロ	115	-12	-
税引前利益(EBT) ³	百万ユーロ	2,873	3,058	-6.0
自動車部門 ³	百万ユーロ	2,062	2,391	-13.8
モーターサイクル部門 ³	百万ユーロ	96	103	-6.8
ファイナンシャル・サービス	百万ユーロ	605	589	2.7
その他の事業	百万ユーロ	8	23	-65.2
控除 ³	百万ユーロ	102	-48	-
法人税 ³	百万ユーロ	-784	-841	6.8
営業利益 ³	百万ユーロ	2,082	2,217	-6.1
1株当たり利益 ^{2,3}	ユーロ	3.13/3.14	3.34/3.35	-6.3/-6.3

¹ 休眠中の雇用契約、退職前のパートタイム労働契約および低賃金労働者の労働および非労働段階の従業員を除く。

² 普通株式／優先株式1株当たりの利益。

³ 2017年の数値はIFRS第15号に従って調整 - 四半期報告書の注[5]を参照。

⁴ 2018年に対する値、2018年に対する-7百万ユーロの廃止事業分野の損益を含む。